



毎日厳しい日射しと暑さでしたが、プールあそびを中心にのびのび遊ぶ子どもたちです。セミの鳴き声に代わり、日が暮れるとツツクボウシの鳴き声も聞こえるようになりました。まだまだ暑い日が続くので引き続き体調管理に気を付け、元気に過ごしていきたいと思います。

たいようぐみ

プールあそび

水と十分に親しむ1ヶ月です。先月からの子どもたちのあそびも変わっていき、水中隠れんぼや水中リレー飛び込込ジャンプ、子どもたちが足を広げたりする、トンネルくぐりなど楽しんでいました。自由に遊ぶ時もあり、集団で遊ぶ時も多くさん言いつてきました。子どもたちがお互いの姿を見ることで、刺繍文とよ。それ以外の遊び方も変わっていき、着目をつけることが苦手な子どもも、水中でもどよ泳ぐ事を楽しんでる友だちの姿を見ている中で、「自分もやってみよう」という気持ちを持ち、「えいっ！」と勇気を出し、水面に着目をつけています。

かぜ組せら組の子どもには泳ぎを見てもう日を作り朝から自信たっぷりの子どもたちです。「池あそび、プールあそび、おぼえ、ほくほ、しるくるまわりの、おぼえ、おぼえ」と意気込んでいる。プールの端から端までを泳ぐことが、つかつか入っていき、何れ復もする子どももいます。また、いっせいに泳ぐ時間も長い子どももいます。拍手や歓声が嬉しく、「もっとおぼえ」と話をする姿もみられました。保育園最後のプールあそび、「2のいっせい！」友だちと一緒に遊んでおぼえ、「水大好き」とそれぞれがめいめい楽しんで2ヶ月です。

スライム作り

洗濯のりに液体洗剤を混ぜていくとスライムが出来上がります。タライにこれらの液を入れ、子どもたちが混ぜ続けると次第に固まり、手に握るとスライムの完成です。ひんやりとした感触に、ものすごく伸びるスライム、「びんごのびんご」と友だちと伸ばしあつたり、引いたり、こねたり、手のひらに乗せたり、形が変わっていく姿に興奮しています。

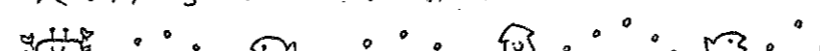
この時にこちらの上手くついでに、実は世の材料を使い、スライム作りをしました。混ぜても混ぜても上手くまとまらないうち、おぼえ、おぼえ、何となく楽しんでる子どもたちは、トトロの状態でも面白さを見出し、いつかまとまるだろうという期待を持ち、ひたすらこねておぼえ、材料の配合を考慮しておぼえ、その過程で友だちとのやりとりも楽しい時でした。結果は残念ではありましたが、あそびがそこで終わるのではなく、言葉や金言誤りしてあそびはとて充実したものになりました。子どもたちの日常は不思議に溢れています。そこで大人が失手して、理想と異なることへと導こうとしてしまいがちですが、そうではなく、色々おぼえ、発見をし、興味を持ち、関わり、どのようにするのか、まずは子どもたちに考え、工夫することを大切にしたいと思っています。

お知らせ： 来月9/11(金)18時～お泊り保育についての説明会を行います。お忙しい中ではありませぬ、是非ご参加ください。よろしくお願いいたします。

そらぐみ

① スライムあそび

たいよう組が7月にスライムあそびをしていたのを見ていた子どもたちに8月にする予定であることを伝えます。すると「もう8月?」「スライム今日する?」と楽しみにしていた子どもたちです。カップに洗濯のりを入れ、そこに液体洗剤を入れるところをじっと見ている。くすぐるかき混ぜるとあつという間に固まり、「トトロ」「モチモチ」のスライムが出来上がります。カップの中で混ぜ続けたり、手のひらに乗せたり、粘土板の上に広げたり様々です。「フニフニしてる!」「やわらかい!」「くもすみたい!」と引き伸ばしたり、丸めたりして感触を楽しんでいます。「こねこねのびる!」と椅子の上になら、自分の背と同じくらい伸ばして遊ぶ子どももいました。「またしたい!」「つぎいつする?」と既に次回も楽しみにしている子どもたちです。



② 三角馬がんばるぞ!

園庭で三角馬をしました。「よし!やりたい!」という子どももいれば、「できひん、いややほ〜」という子どももいます。今、乗ってはいない子どもも乗る友だちの姿を見て、柵にたかまり足踏みをバウンスを取ったり、保育者の手を持ち進めたこと自信にかえて頑張っています。少しずつすることで、積り重ね、出来た時の達成感や、出来るようになるまで元氣張る経験の大切さ、喜びを感じられるようにしたいと思います。



③ ともだちといっしょに

集団での関係で一人ひとりが「自分」を作っていく時は集団そのものが大きく育つときであると言えます。すぐろくやジャンパはど、ルールのある遊びも成立するようになるのですが、自分で相手と相談して物事を進めることはまだ難しいです。決まったルールにしがらまれてしまうことも多いのが4歳児クラスの子どもたちです。友だちから自分の思いと違うことをされると、それを受け入れることができずにけんかになってしまうこともあります。

「みんなやだよ!」「できに」という声で、それが共有できた時、大きく成長すると思いつ、相手の思いを知り、自分の思いを伝え、折り合いをつけたり、相手の喜びや悲しみに共感し、できるよ話していきなさいと思っています。



プールあそび

保育者が「〜しよう」と声をかけなくてもプールに入る様子。「せんをきしよ!」「ワニしよ!」「イルカジャンプしたい!」「お水のかけまわしよ!」と友だちや保育者と誘ってります。みんなで「せんをき」のかけ声ととも、プールの端を泳ぎにのびのび回ります。水がくぐり出すと、とこで腹ばい姿勢になるとフカフカ身体が水流で回ります。イルカジャンプは、フーフーと息を吐き、フーフーとイルカのフワフワの輪に向かってジャンプします。くぐり子どもは、その様子水中にもくぐって進み、くぐり子どもは、両足でフーフーと息を吐き、顔が水中に入らないうちに、両手で支えたりします。プールに入り始めると、顔は水か、かかると苦手で子どももいました。今では「みて、と自分から水面に顔を付けています。毎日プールあそびをする事で、くぐりようになったり、顔を付けているようになったり、バニャバニャ水かかっても平気でなったり、大胆にあそんでいます。

感心あそび

7月にも片栗粉あそびや寒天あそびをしました。今度も夏休み前のあそびを頑張りました。片栗粉あそびでは、自分で水を入れて、固さを調節しています。ちよと固めると固まりすぎ子どもや、トロ〜と上から垂らしてあそぶ子どももいます。かき水あそびでは、水をタライに入れて、「やわ〜冷たい、と触ります。かき水器に水を入れ、保育者が取って回すと、子どもたちも「カキカキ〜かき水〜」と歌いながらカキカキ受けます。ドレッシングボットに食紅で色をつけた水を用意してかき、かき水にかけます。「いちご水で〜す!」「ブルーハワイでできた」と色を混ぜて、お茶、ふどうのかき水も作り、かき水屋さんごっこを楽しんでいます。泡あそびでは、洗面器にボディーソープを入れかきかきとスポンジで弾き、泡立てます。浴用泡立てネット、洗顔泡立てネット、浴器型のものも、好きなものを選んで泡立てます。カップに泡をいれ、「アイスケーキ作り」食紅を混ぜて色々味のアイスケーキを作ったり、身体で泡だらけにしてあそびました。

主人公子どもたち

子どもたちは、「こうしたい!」「もっとこうしてみたい!」という「思い」を持っています。そしてその「思い」に向っていきます。うまくいかないと「やりたくない!」「できひん!」という悩みも出てきます。子どもたちが成長していくという事は、こうした悩みを乗り越えていくからこその喜びや自信に繋がります。さらに、新しい「思い」をつくり出していくことにもなります。しかし、「思い」のやり取りは、おぼえの時間がかかるともあります。せんが時に、「早く早く」と急がせたり、否定的に見たり、手伝って(まわたり)、間違えを正すのはなく、子どもが、うまくいかないとを繰り返して、自分でやり方を見つけていくように、支えていきなさいと思います。やったりと待たせたり、ちよとだけ手を貸したりして、いつの日も子どもたちが、「主」になれるように、あたたかく見守り、寄り添って、くことを大切にしたいと思います。





毎日厳しい日射しと暑さでしたが、プールあそびを中心にのびのび遊ぶ子どもたちです。セミの鳴き声に代わり、日が暮れるとツツクボウシの鳴き声も聞こえるようになりました。まだまだ暑い日が続くので引き続き体調管理に気を付け、元気に過ごしていきたいと思います。

たいようぐみ

プールあそび

水と砂に親しい1ヶ月です。先月からの子どもたちのあそびも変わっていき、水中隠れんぼや水中リレー、飛び込込ジャンプ、子どもたちが足を広げたりする、トンネルくぐりなどを楽しんでいます。自由に遊ぶ時間も増えて、集団で遊ぶ時間もたくさん設けてきました。子どもたちがお互いの姿を見ることで、刺繍文とよび、それ以外の遊び方も変わっていき、顔を近づけることが苦手な子どもも、水中でもどろんどろんと水を楽しんでいる友だちの姿を見ている中で、「自分もやってみたい」という気持ちを持ち、「えい！」と勇気を出し、水面に顔を近づけています。

かぜ組せら組の子どもたちには泳ぎを見てもう日を作り朝から自信たっぷりの子どもたちです。「池の和、ゴールおせあげなわ」「ぼくは、しるくるまわのを、おせあげな」と意気込んでいる。プールの端から端までを泳ぐことが、つい力が入り過ぎて、何れ復もする子どももいます。まだ、泳ぎ以外にも遊ぶ時間が長い子どももいます。拍手や歓声が嬉しく、「もっとおんがし」と話せる姿も増えて、保育園最後のプールあそび、「このいっ！」友だちと一緒に遊んでおもしろい「水大船を」とそれぞれがめいめい楽しんで2ヶ月です。

スライム作り

洗濯のりに液体洗剤を混ぜていくとスライムが出来上がります。タライにこれらの液を入れ、子どもたちが混ぜ混ぜすると、次第に固まり、手に握るとスライムの完成です。ひねりしつとプンプンと膨らんで、ものすごく伸びるスライム、「ピンポンのびんやろ」と友だちと伸ばしあつたり、引いたり、こねたり、手のひらに乗せて、形が変わっていく姿に驚きと喜びです。

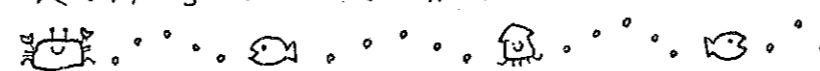
この時にこちらの上手くいるのが、実は世の材料を使い、スライム作りをしました。混ぜ混ぜも混ぜ混ぜも上手くとまらぬは色々あり、しるくる、ピンポン、何とかが楽しんでいる子どもたちは、トトロの状態でも面白さを見出し、いつかまたやるぞろろという期待を持ち、ひたすらこねておいて、材料の配合を考慮しておいたり、その過程で友だちとのやりとりも楽しい時です。結果は残念ではありましたが、あそびがそこで終わるのではなく、言葉や金言誤りしてあそびはとておもしろいものになりました。子どもたちの日常は不思議な溢れています。そこで大人が失手して、理想と異なることへと導こうとしてしまいがちです。そうではなく、色々は所が気付く、発見をし、興味を持って関わり、どのようにするのか、まずは子どもたちで考え、工夫することを大切にしたいと思っています。

お知らせ： 来月9/11(金)18時～お泊り保育についての説明会を行います。お申し込みはありますか。是非ご参加ください。よろしくお願ひします。

そらぐみ

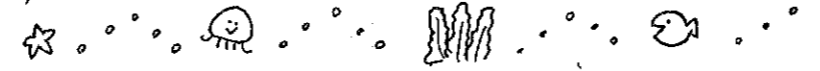
スライムあそび

たいよう組が7月にスライムあそびをしていたのを見ていた子どもたちに8月にする予定であることを伝えます。すると「もう8月?」「スライム今日する?」と楽しみにしていた子どもたちです。カップに洗濯のりを入れ、そこに液体洗剤を入れるところをじーっと見ている。くすぐるかき混ぜるとあつという間に固まり、「トトロ」「モチモチ」のスライムが出来上がります。カップの中で混ぜ続けたり、手の上に乗せたり、粘土板の上に広げたり様々です。「プンプンしてる!」「やわらかい!」「くもすみたい!」と引き伸ばしたり、丸めたりして感触を楽しんでいます。「みんなはのびる!」と椅子の上に立ち、自分の背と同じくらい伸ばして遊ぶ子どももいました。「またしたい!」「つぎいつする?」と既に次回も楽しみにしている子どもたちです。



三角馬がんばるぞ!

園庭で三角馬をしました。「よし!やりたいたい!」という子どももいれば、「できひん、いやは〜」という子どももいます。今、乗ってはい子どもも乗る友だちの姿を見て、柵にたかまり足踏みをバウンスを取ったり、保育者の手を持ち進めたことと自信にかえて頑張っています。少しずつすることで、積み重ね、出来た時の達成感や、出来るようになるまで元氣張る経験の大切さ、喜びを感じられるようにしたいと思います。



ともだちといっしょに

集団での関係で一人ひとりが「自分」を作っていく時は集団そのものが大きく育つときであると言えます。すぐろくやジャンガはど、ルールのある遊びも成立するようになるのですが、自分で相手と相談して物事を進めることはまだ難しいです。決まったルールにしがらみ(しやう)ことも多いのが4歳児クラスの子どもたちです。友だちから自分の思いと違うことをされると、それを受け入れることができずにけんかになってしまうこともあります。

「みんなであつた」「できた」という手ごたえが共有できた時、大きく成長すると思いつ、相手の思いを知り、自分の思いを伝え、折り合いをつけたり、相手の喜びや悲しみに共感し、できるよ話していきなさいと思っています。



プールあそび

保育者が「〜しよう」と声をかけなくてもプールに入る様子。「せんたきしよ!」「ワニしよ!」「イルカジャンプ!」「水のかけまわしよ!」と友だちや保育者と誘っています。みんなで「せんたきしよ」のかけ声とともに、プールの端を慌慌と回ります。水がくぐり出す様子に、とろろと腹ばい姿勢になるとプカプカ身体が水流で回ります。イルカジャンプは、プカプカとジャンプとイルカのフタはプカプカの輪に向かってジャンプします。くぐり子どもは、その様子水中にもくぐり進み、くぐり子どもは、両足でプカプカと泳ぎ、顔が水中に入らないうちに、両手で支えたりします。プールに入り始めると、顔は水か、かかると苦手で子どももいました。今では「みて、と」と自分から水面に顔を近づけています。毎日プールあそびをする中で、くぐりようになったり、顔を近づけるようになったり、ジャンプ水かかっても平気になったり、大胆にあそんでいます。

感心あそび

7月にも片栗粉あそびや寒天あそびをしました。今度も夏休みのはじめあそびを頑張りました。片栗粉あそびでは、自分で水、お湯、水を入れ、固さを調節しています。ちよと固めると団子にする子どもや、トロ〜と上から垂らしてあそぶ子どももいます。かき氷あそびでは、氷をタライに入れ、水を加えて、氷を砕き、氷を砕き、かき氷器に水を入れ、保育者が取って回すと、子どもたちも「カキカキ〜かき氷〜」と歌いながらカキカキを受けたり、ドレッシングボットに食紅で色をつけて水を注ぎ、かき氷にかける。かき氷に「いちご水で〜」「ブルーハワイでできた」と色を混ぜて、お茶、ぶどうのかき氷も作り、かき氷屋さんを楽しくあそびます。泡あそびでは、洗面器にボディーソープを入れ、お湯を加えて、泡立てます。浴用泡立てネット、洗面泡立てネット、浴器型のもの、好きなものを、泡立てます。カップに泡をいれ、「アイスケーキ作り」食紅を混ぜて色々味のアイスケーキを作ったり、身体で泡をたたいてあそびました。

主人公は子どもたち

子どもたちは、「こうしたい」「もっとこうしてみたい」という「思い」を持っています。そしてその「思い」に向って、いってきます。うま〜いかな、「やりた〜いかな、できな〜い」という悩みもあつたります。子どもたちが成長していくというには、こうした悩みを乗り越えていくからこそ、それが、喜びや自信に繋がります。さらに、新しい「思い」をつくり出して、いくことになつたります。しかし、「思い」のカタチには、おぼろげな時間がかかるともあつたります。せんたき時に、「早く早く」と急がせたり、否定的に見たり、手伝って(まわたり)、間違えを正すのはよく、子どもが、うま〜いかな、ことを繰り返して、自分でやり方を見つけていくように、支えていきなさいと思います。ゆつたりと待つたり、ちよとだけ手を貸したりして、いつの日も子どもたちが、「主」になれるように、あたたかく見守り、寄り添って、いくことを大切にしたいです。





毎日厳しい日射しと暑さでしたが、プールあそびを中心にのびのび遊ぶ子どもたちです。セミの鳴き声に代わり、日が暮れるとツツクボウシの鳴き声も聞こえるようになってきました。まだ暑い日が続くので引き続き体調管理に気を付け、元気に過ごしていきたいと思います。

たいようぐみ

プールあそび

水と汗に親しい1ヶ月です。先月からの子どもたちのあそびも変わっていき、水中隠れんぼや水中リレー、飛び込みジャンプ、子どもたちが足を広げたりする、トンネルくぐりなどは楽しんでいました。自由に遊ぶ時間もありませんが、集団で遊ぶ時間もたくさん設けてきました。子どもたちがお互いの姿を見ることで、刺激や学び、それ以外の遊び方も変わっていき、顔を近づけることが苦手な子どもも、水中でもどろんどろんと水を楽しくしている友だちの姿を見ている中で、「自分もやってみよう」という気持ちを持ち、「えいっ！」と勇気を出し、水面に顔を付けています。

かせ組せり組の子どもたちには泳姿を見てもう日を作り朝から自信たっぷりの子どもたちです。「泳ぎのゴールおめでとう」「ぼくは、しるくるまわりのを、おせにあげる」と意気込んでいる。プールの端から端までを泳ぐのが、つかつか入り過ぎ、何が復もする子どももいます。まだ、泳ぎ以外にも遊ぶ時間が長い子どももいます。拍手や歓声が嬉しく、「もっとおどろかす」と話せる姿も増えて、保育園最後のプールあそび、「このいっ！」友だちと一緒に遊んでおもしろい「水大盛り」とそれぞれがめいめい楽しんで2ヶ月です。

スライム作り

洗濯のりに液体洗剤を混ぜていくとスライムが出来上がります。タライにこれらの液を入れ、子どもたちが混ぜ混ぜすると、次第に固まり、手に握るとスライムの完成です。ひんやりとした感触は、ものすごく伸びるスライム、「どろんどろんどろん」と友だちと伸ばしあったり、引き伸ばしたり、こねこね、手のひらに乗せて、形がかわっていくことに興味津々です。

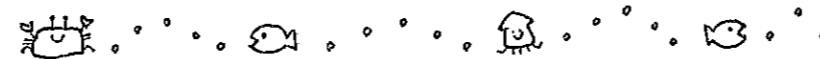
この時にこちらの上手くいたのが、実は世の材料を使い、スライム作りをしました。混ぜ混ぜも上手くまとまるとはなかなか出来ず、最初は「何か楽しみたい子どもたちは、トトロの状態でも面白さを見出し、いつかまとまるだろう」という期待を持ち、ひたすらこねておぼろげな材料の配合を考え直して何度も、その過程で友だちとのやりとりも楽しい時でした。結果は残念ではありましたが、あそびがそこで終わるのではなく、試行錯誤してのあそびはとて充実したものになりました。子どもたちの日常は不思議な溢れています。そこで大人が失手をし、理想と異なることへと導こうとしてしまいがちです。そうではなく、色々と所々気付く、発見を、興味を持って関わり、どのようにするのか、まずは子どもたちに考え、工夫することを大切にしたいと思っています。

お知らせ： 来月9/11(金)18時～お泊り保育についての説明会を行います。お休みの日はありません。是非ご参加ください。よろしくお願ひします。

そらぐみ

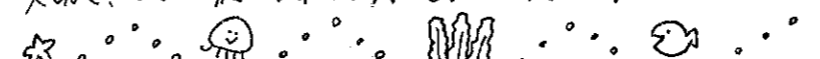
スライムあそび

たいよう組が7月にスライムあそびをしていたのを見ていた子どもたちに8月にする予定であることを伝えます。すると「もう8月？」「スライム今日する？」と楽しみにしていた子どもたちです。カップに洗濯のりを入れ、そこに液体洗剤を入れるところをじーっと見ています。くぐくぐかき混ぜるとあっという間に固まり、「トトロ」「モチモチ」のスライムが出来上がります。カップの中で混ぜ続けたり、手の上に乗せたり、粘土板の上に広げたり様々です。「フニフニしてる！」「やわらかい！」「くもすみたい！」と引き伸ばしたり、丸めたりして感触を楽しんでいます。「みんなはのびる！」と椅子の上に並べ、自分の背と同じくらい伸ばして遊ぶ子どももいました。「またしたい！」「つきいつする？」と既に次回も楽しみにしている子どもたちです。



三角馬はんばるぞ！

園庭で三角馬をしました。「よし！やりたい！」という子どももいれば、「できひんし、いやな〜」という子どももいます。今、乗ってはいませんが乗る友だちの姿を見て、柵につかまり足踏みをバウンドを取ったり、保育者の手を持ち進めたことと自信にかえて頑張っています。少しずつすることで、積み重ね、出来た時の達成感や、出来るようになるまで、元氣張る経験の大切さ、喜びを感じられるようにしたいと思います。



ともだちといっしょに

集団との関係で一人ひとりが「自分」を作っていく時は集団そのものが大きく育つときであると言えます。すぐろくやジャンガなどルールのある遊びも成立するようになりますが、自分で相手と相談して物事を進めることはまだ難しいです。決まったルールにしがらまれてしまうことも多いのが4歳児クラスの子どもたちです。友だちから自分の思いと違うことをされると、それを受け入れることができずにけんかになってしまうこともあります。

「みんなやっばい」「できた」という声で、それが共有できた時、大きく成長すると思われ、相手の思いを知り、自分の思いを伝え、折り合いをつけ、相手の喜びや悲しみに共感し、できるような話し合いをしていきたいと思います。



プールあそび

保育者が「〜しよう」と声をかけなくてもプールに入る様子。「せんたきしよ！」「ワニしよ！」「イルカジャンプしたいよ」「水のかけまわりたいよ」と友だちや保育者と誘ってります。みんなで「せんたき」のかけ声とともに、プールの端を順番に4回回ります。水がくぐり出すと、ヒョコと飛び、姿勢はまるでフカフカ身体が水流に回ります。イルカジャンプは、フーフーと息を吐き、ジャンプとイルカのフワフワの輪に向かってジャンプします。くぐり子どもは、その様子水中にもくぐって進み、くぐり子どもは、両足でフーフーと息を吐き、顔を水中に入らないように、両手で支えたりします。プールに入り始めると、顔は水か、かかると苦手で子どももいました。今では「みて、と」と自分から水面に顔を付けています。毎日プールあそびをする中で、くぐり子どもは、顔を付けているように、ハニャハニャ水がかかっても平気で泳いで、大膽にあそんでいます。

感触あそび

7月にも片栗粉あそびや寒天あそびをしました。今度も夏ならではのあそびを準備しました。片栗粉あそびでは、自分で水を加え、水を入れ、固さを調節しています。ちよと固めると団子にする子どもや、トロ〜と上から垂らす子どももいます。かき氷あそびでは、氷をタライに入れ、水を加え、氷を砕き、氷と砕き、かき氷器に水を入れ、保育者が取って回すと、子どもたちも「カキカキ〜かき氷〜」と歌いながらカキカキ受けて、ドレッシングボットに食紅を色をつけて水を注いでいくと、かき氷にかけます。「いちご味で〜」「ブルーハワイでできた」と色を混ぜて、抹茶、ぶどうのかき氷も作り、かき氷屋さんごっこを楽しんでいます。泡あそびでは、洗剤ボットにボディーソープを入れ、水を加えて、泡立ちます。浴用泡立てネット、洗剤泡立てネット、浴槽型のものから、好きなものを選んで泡立ちます。カップに泡をいれ、「アイスクリームたいい」食紅を混ぜて色々味のアイスクリームを作ったり、身体で泡をたたいてあそびました。

主人公は子どもたち

子どもたちは、「こうしたい」「もっとこうしてみたい」という「思い」を持っています。そしてその「思い」に向って、いってきますが、「うまくいかない」「やりたかったけどできなかった」という悩みも出てきます。子どもたちが成長していくというには、こうした悩みを乗り越えていくからこそ、それが喜びや自信に繋がります。さらに、新しい「思い」をつくり出していくことにもなります。しかし、「思い」のカタチには、おぼろげな時間がかかるともあります。そんな時に、「早く早く」と急がせたり、否定的に見たり、手伝ってしまったり、間違えを正すのはよく、子どもが、うまくいかないことを繰り返して、自分でやり方を見つけていくように、支えていきたいものです。やったりと待たせたり、ちよとだけ手を貸して、いつの日か子どもたちが、主になれるように、またたく見守り、寄り添って、くことを大切にしたいと思います。

